

赤坂

北九州市立赤坂小学校

第4号 文責 梶原 秀朗

【学校教育目標】

自ら学び考え、心豊かで、
心身ともに健康な児童の育成

☆学校経営方針特集 第2号☆

平成30年度は、平成32年度学習指導要領全面実施に向け教育環境が大きく変わります。そこでまず、学校長の願いとして教職員や子どもたちに「4つのCに取り組みましょう。」と伝えています。4つのCとは、「Change」「Challenge」「Chance」「Check」のことです。

例えば、今年から道徳の教科化が始まり、「特別な教科 道徳(道徳科)」へと変わります。(Change)教科書を主たる教材として使用し、「考え、議論する道徳」の学習を通して、子どもたちの道徳性を育成します。この年間35時間の道徳の学習に家庭や地域も積極的に関わる(Challenge)ことで、子どもの心が成長するよい機会(Chance)にできると考えます。そして、学習を振り返ること(Check)で子どもたちの成長へとつなげることができると考えています。

※道徳科の時間では・・・教科書を8割程度使用します。その他の副読本も使用して学習します。

教科書付録の道徳ノートは、全て使用するわけではありません。

また、本市の小学校では、新学習指導要領の目標を踏まえ、北九州市外国語カリキュラム等を活用し、外国語教育を先行実施することとなりました。3・4年生では、年間35時間の外国語活動、5・6年では、年間70時間の外国語科の学習が行われます。中学年の外国語活動では、外国語に慣れ親しみ、外国語学習への動機付けを高めるようにします。高学年の外国語科では、中学年の学習に加え、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写したり、例文を参考に書いて書いたりする学習を行います。子どもたちが新しい学習に挑戦することで、相手のことを尊重し、思いやりながらコミュニケーションする態度が育つと考えています。尚、本校では、総合的な学習の時間から15時間を活用したり、水曜日の6校時を利用したりして時数確保を図っていきます。

さらに、本年度4年生の国語科では、社会科学習における都道府県名の名称と位置についての学習の関連において、都道府県に用いる漢字25文字が配当されました。

「賀、群、徳、富、城、茨、媛、岡、潟、岐、熊、香、佐、埼、崎、滋、鹿、縄、井、沖、栃、奈、梨、阪、阜」この25文字については、4年生の段階で読んだり、書いたりできるようにならないといけません。

このように、学習内容も大きく変わってくるのが30年度です。そこで学校長として、時代の変化等、変わることには怯まず挑戦し続け、自己の能力を伸ばす機会にするとともに、取組をしっかり振り返る児童や職員、学校、家庭、地域でありたいと思っています。

次号では、働き方改革等、本校での業務改善の取組についてお伝え致します。

「やさしい」姿に感謝！！ Part 2

13日(金)に、地域の方が、2年生やにこにこ学級の学級園の畑を耕し、畝を作ってくださいました。黒いマルチシートを被せた理由を尋ねてみると、夏休み前に収穫ができるように、草が生えにくいようにとのことでした。地域の方の心遣いに感謝です。子どもたちには、野菜をうまく育てるためには、土作りがとても大事であることや土を耕してくれた方への感謝を忘れないで野菜づくりに励んで欲しいと思います。

